広報 たまかわ

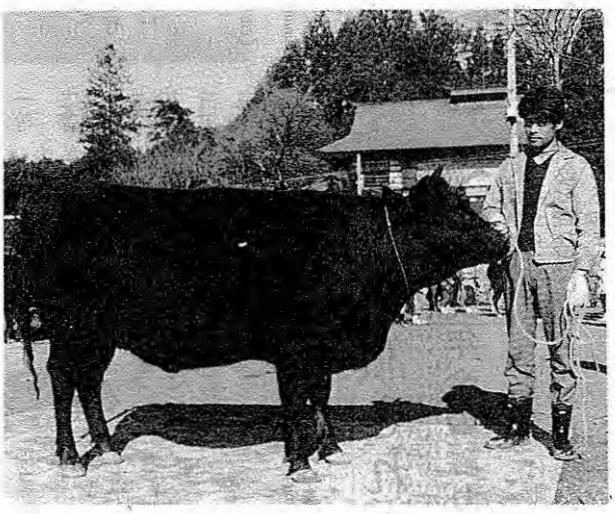
村のようす

（54年11月1日現在）

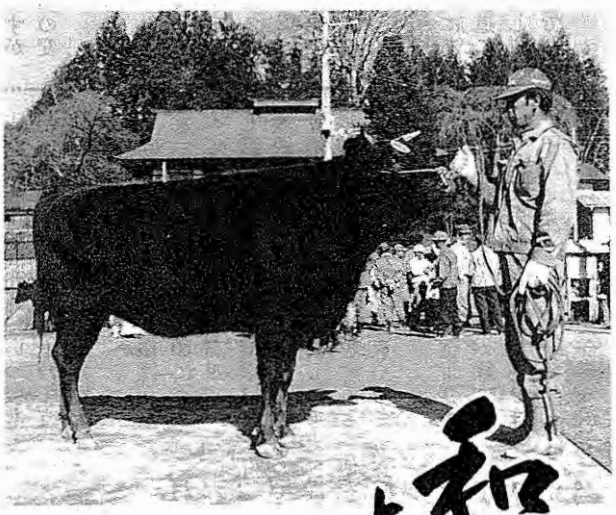
世帯数	1,491戸（＋ 1）
人　口	7,394人（＋15）
男	3,666人（＋ 5）
女	3,728人（＋10）

編集・発行
福島県石川郡
玉川村役場企画課

印刷所
須賀川市加治町8-6
㈲ 円谷印刷



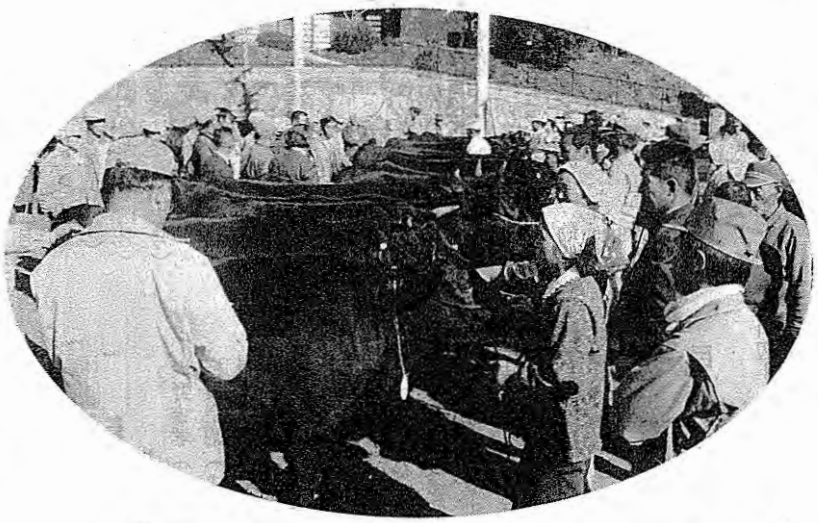
▶第2部チャンピオン　よし子号



▶第3部チャンピオン　第6はるこ号

和牛共進会 よし子号に県知事賞

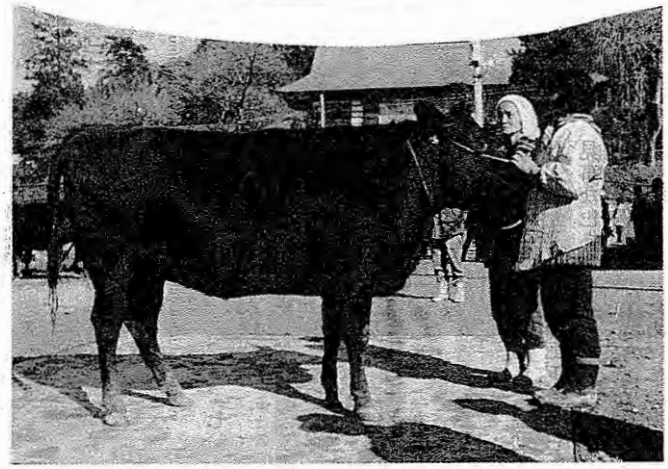
村主催による肉用牛和牛共進会が、十一月二十日午前九時三十分から、須釜農協駐車場で開らかれました。



▶共進会風景

この共進会は、本村の肉用和牛の資質の向上と飼育技術の改善により、畜産振興を図るため開らかれたものです。

共進会には村内和牛飼育畜産農家から四十頭が出陳され、いづれも飼育管理の行きとどいた見事な牛ばかりで、飼育農家の熱心さにおどろかされました。



▲ 第1部チャンピオン　ふく子号

なお、入賞者をご紹介します。

（次のページをご覧下さい。）

村議会だより

第五回臨時会が去る十一月二十二日開かれ、工事請負契約の変更など議案三件提出されましたが全議案原案どおり可決されました。

可決された議案と内容

▲議案第四十号　民有林林道開設事業請負契約の変更について
（工事の場所　大字北須釜字懸金沢地内）

▲議案第四十一号　玉川村立すがま幼稚園新築工事請負契約の変更について
（工事の場所　大字南須釜字西ケ作地内）

この二件の契約変更は天候不順（長雨）等のため当初予定の工事より遅れを来たしておるため工期の延長の変更であります。

▲議案第四十二号　青井沢林道の併用林道設定について
大字四辻新田字東野地内の青井沢林道の改良（拡幅）するにあたり併用部分百七十米を林道に認定し将来改良計画を施行し併用林道として設定するものであります。

【表紙参照記事】

⊙第一部
（生後十四ヶ月～十八ヶ月）
優等　大野　吉孝（ふく子号）
一等　石井周太郎（ふじひめ号）
二等　石森清　之（かねこ号）
三等　榊枝　定一（さだみつ三号）

⊙第二部
（生後十九ヶ月～二十二ヶ月）
優等　榊枝　金徳（よし子号）
一等　榊枝　金徳（いわよし号）
一等　太田　竹雄（第二おおがき号）
二等　石森　藤重（さわやま十号）
二等　増子　悟（ほうねん号）
二等　石森　博（すずたま四号）
三等　石森　忠助（かねみ号）
三等　矢吹　重一（あさ子二号）
三等　佐藤四郎一（ゆうこ号）

⊙第三部
（生後二十三ヶ月以上）
優等　瀬谷　吉定（第六はるこ号）
一等　渡辺　光秋（ほたか五号）
一等　草野　利房（はな子三号）
二等　大越　吉男（かねなり四号）
二等　草野　藤七（はなもり二号）
三等　大木　武義（みつほ号）
三等　須藤　清重（第たかふみ号二）

県知事賞
榊枝金徳（よし子号）

須釜農業協同組合長賞
（総合優等）
榊枝金徳（よし子号）

石川地方畜産振興協議会長賞並びに石川地方農業共済組合長賞
大野吉孝（ふく子号）
榊枝金徳（よし子号）
瀬谷吉定（第六はるこ号）

石川郡畜産農業協同組合組合長賞
大野吉孝（ふく子号）
石井周太郎（ふじひめ号）
榊枝金徳（よし子号）
榊枝金徳（いわよし号）
太田竹雄（第二おおがき号）
瀬谷吉定（第六はるこ号）
渡辺光秋（ほたか五号）
草野利房（はな子三号）

生涯減額された年金に
国民年金の繰り上げ請求

国民年金の老齢年金（通算老齢年金を含む）は、六十五歳から支給されます。

しかし、年金を受ける条件を満たしていれば、六十歳から六十四歳までの間なら、いつでも希望するときから繰り上げて支給を受ける道が開かれています。

けれども、その年金額は、本来六十五歳から受ける額にくらべて最低一一％から最高四二％も減額されます。その減額は生涯続きますし、一たん繰り上げ支給を希望すると取り消しはできませんからご申請をするときは、くれぐれもご注意ください。

なお、本来の老齢年金より多い額を希望する人には、繰り下げ支給を申請する方法があります。

これは、六十五歳で年金を受け取らず、六十六歳から七十歳までの間に受け始めるもので、最低一二％から最高八八％まで増額されます。

道路改良工事など七件発注

村発注の工事について来る十月十六日、入札した結果次の通り落札、それぞれ工事に着手しましたのでお知らせします。

尚工事期間中皆様方に大変御不便を来す事があるかと思いますが宜敷く御協力下さいますようお願いします。

①四辻新田字蜂巣地内　農道改良工事、延長二四七米、四〇〇万
請負者岩谷建設

②中字道下地内　用排水路工事
延長一一〇米、二五五万、請負者小林建設

③山小屋字坂ノ下地内　道路改良工事、延長三九〇米、一、八五五万、請負者熊田建設

④四辻新田字弥左衛門平地内　道路舗装工事、延長三二〇米、八〇七万、請負者岩谷建設

⑤南須釜字南宿地内　農道改良工事、延長四二〇米、一、七〇九万、請負者鈴木建設

⑥吉字上ノ入地内　舗装新設工事
延長四四〇米、八四五万、請負者㈱渡辺組

⑦北須釜字下舘石地内　道路改良工事、延長一〇〇米、二九五万
請負者小林建設

川辺小のよい子たち
見事な菊づくり

川辺小（関根保雄校長）のよい子たち九十二名は、いたわり、育てる、そして菊の花のような品のある立派な人間に育ってはしいと云うことから、ことしから菊づくり一人、一ハチ運動をはじめました。子供たちがつくった菊が学校中いっぱいに見事に咲きほこり菊の香を漂せて居りました。

この菊づくりは川辺小の学校目標である「よく学び、よく遊びよく働く」に基づいて始めたものです。

昨年秋から川辺菊愛好会の須藤永一さんらの指導で、たい肥づくりから、さし芽、定植など高さ三十センチほどにつくられた福助菊が、自分達の教室の廊下に飾られ見事な色あいを見せて居ります。

関根保雄校長は、立派な品のある人間を育てるためにこの菊づくり運動を今後もつづけていきたいと語っていました。

▲見事に咲えた菊

成人おめでとう 百八名が大人の仲間入り

成人に達した若者たちの晴れの門出を祝福する、昭和五十五年玉川村成人式は、来春一月十五日（成人の日）に玉川村就業改善センターで挙行されます。

村内の成人該当者は、昭和三十四年四月二日から三十五年四月一日までに生れた者で、本村に住民登録されている成人者は次のとおりです。

住民登録されているが、調査もれで名前が載っていない者あるいは本村出身で玉川村の成人式に出席したい者は玉川村公民館へ、十二月二十日まで申し込んで下さい。

川辺中

大竹　吉夫
草野　和子
小針　弘子
佐藤　庄一
須藤　顕司
矢部　京子
野崎　薫
大竹美代子
熊田　好一
坂本　輝雄
須藤　弘
野崎　隆
吉田　義之
大竹志登美
大木　修
佐久間統広
鈴木今朝美
鈴木富代子
奥野　徳雄
首藤世津子
鈴木　新子
高林　吉亥

蒜生

佐久間友子
真弓　正広
渡辺　栄子
曲山　文彦
真弓　泰
高原喜久子
高原美由紀

岩法寺

大竹　智子
小山田宏子
倉鎌満里子
村越　初栄
佐久間義春
村趣　淳子
大竹　幸江
草野　勝美
高林キミ子
村越　明

小高

石井　雅夫
小林　正雄
須藤　悦寛
溝井由美子
溝井　治男
矢吹　当
佐藤　英子
矢吹　武美
小針　真弓
高原喜久子
谷地　光治
吉田　義則
関根　明美

竜崎

小林　幸子
小林みよ子
根本　静子
青山　正子
小山田康夫
塩沢　正
小林　光春
鈴木　吉徳
湯沢　真次
大野　伝次
木戸　孝幸
円谷　吉三

南須釜

大野　正弘
矢吹三重子
草野　光広
榊枝ひろ子
鈴木美枝子
瀬谷　喜一
矢吹　忠幸
塩沢みち子
滝口　政義
吉村　恵
塩沢　恵子

北須釜

大野　友子
草野　秋子
小針　幸子
塩沢　誠
関根喜恵子
高原美智子
渡辺美智子
宗形　孝将
橘　多真恵

吉田

有賀　幸子
大和田一子
須釜　泰一
鈴木　文子
森　清幸
有賀　貞亥
大和田浩子
須釜　保子
関根　博
森　恵美子

山小屋

石森　幸江
石森美恵子
我妻りい子
倉岡　久明
石森　義隆
我妻　秋則
草野　次子
石森タツイ

山新田

太田　勝則
塩田ハナヨ
関根留美子
大和田信子
須田　美子
溝井　利一

四辻新田

真野目光栄

盛大に民俗芸能発表会おわる

去る11月18日、第2回玉川村民俗芸能発表会が体育館で盛大に開かれました。

伝統ある芸能を後世に伝えようとして、今年度の復活4団体など合計9団体の発表があり、多数の鑑賞者は民俗芸能に対する理解をさらに深めた楽しい一日でした。

出演団体

岩法寺熊野講（岩法寺）
数珠繰り（竜崎）
高原山阿弥陀如来御和讃（小高）
川辺熊野講と餅つき歌（川辺）
中村万歳（中）
天照念仏（四辻新田）
中村神楽（中）
念仏踊り（南須釜）
西郷度・北の宿獅子舞・白鍬踊り（南須釜）

▲三匹獅子舞

高根さんら二十一名表彰
商工会優良従業員表彰式

村内事業所の優良従業員表彰式は、十一月二十三日就業改善センターにて行われ、次の二十一名の方が晴れの表彰を受けました。

表彰式のあと「職業に生きる」と題して、元福島第一小学校長沼崎忠蔵先生の記念講演があり、教育の大切さ、職業の尊さを講演して深い感銘を与えました。

島双羽電機㈱）佐藤二勇、佐久間勝、須藤友治、小林金一（東京精工㈱）関根七五三（小林建設）仁井田ミサ子（㈲釘屋商店）鈴木和幸（㈱福島エンヤ）石森サク（㈱玉川畜生センター）鈴木尚（岩谷建設）須釜成子（㈲本田商店）瀬谷松子（熊田建設）真弓ナツ（鈴木セメント工業所）小山田三益、溝井郁夫、石井正登（駒木根工業㈱福島工場）鈴木庄二（㈲小林工務店）

商工会長表彰

高根孝泰、添田安夫（中根精工㈱）橋本松夫、有我冬、車田敏行（福

昭和53年度決算状況

昭和五十三年度の一般会計、国保特別会計、広域簡易水道事業会計の決算が九月の定例会で承認されました。

歳入の総額は十一億二千九百万円で、昭和五十二年度に比較して六、七%の伸びとなっております。

国、県に依存する財源は、六七、九%と高い数字を示して居ります。

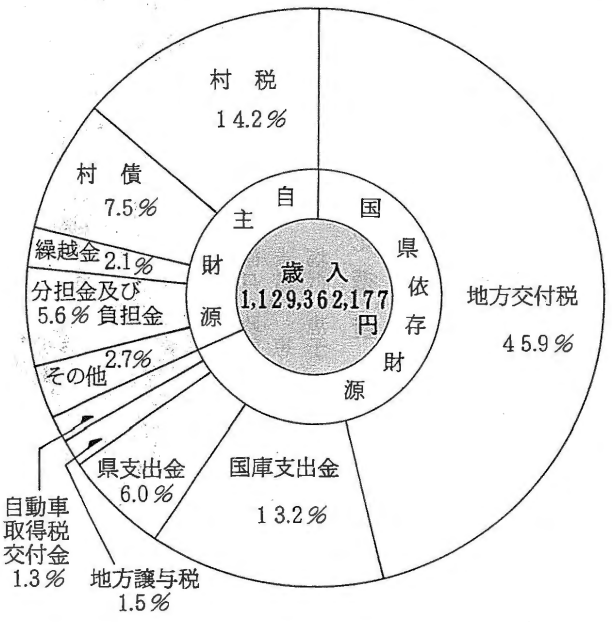
歳出額は、十億六千九百九十万円となり、前年度に比較して三、五%の伸びを示して居りますが、土木費において、五、三%、民生費、衛生費、公債費、消防費、農林水産業費においてそれぞれ僅かな伸びを見せました。

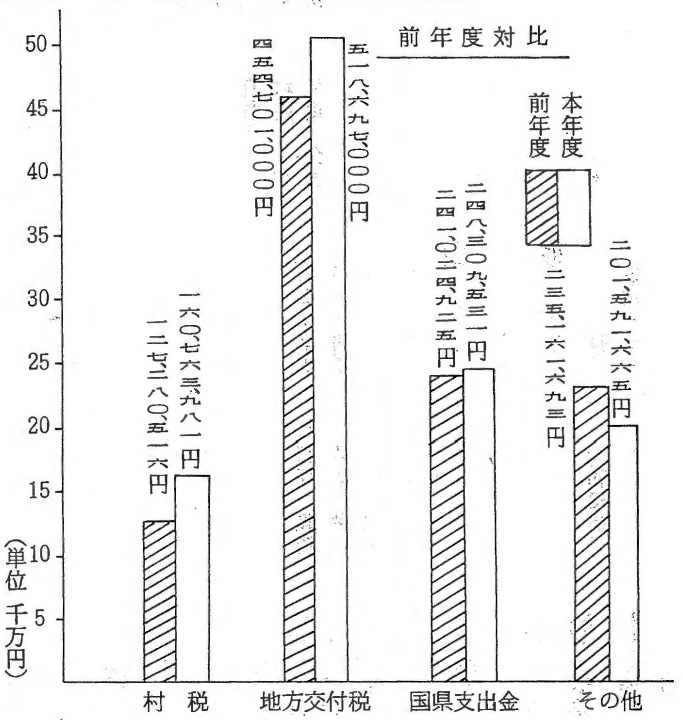
国民健康保険特別会計は、前年度に比較して、歳入で二三、四%、歳出で二一、七%の伸びとなりました。

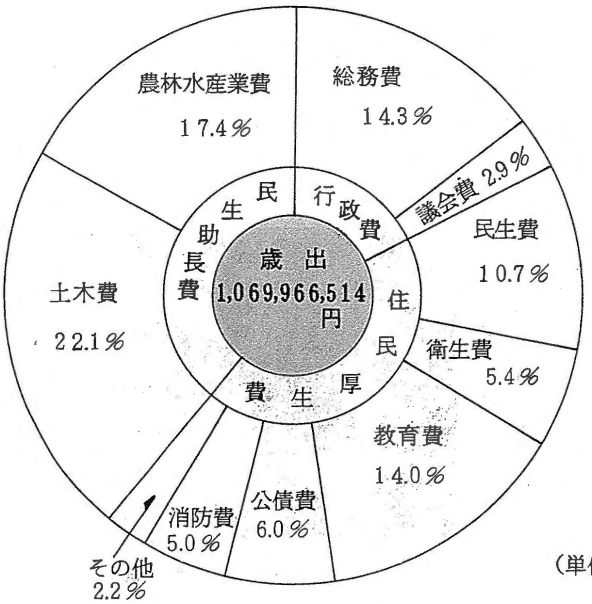
一世帯当りの保険税は八万四千七百六十六円で前年度より一万三千四百四十七円増え、医療費では二十九万八千百七十九円となり五万二千四百五十六円も増えました。なお、国民健康保険加入世帯は一一二〇戸で一世帯四、一人となります。

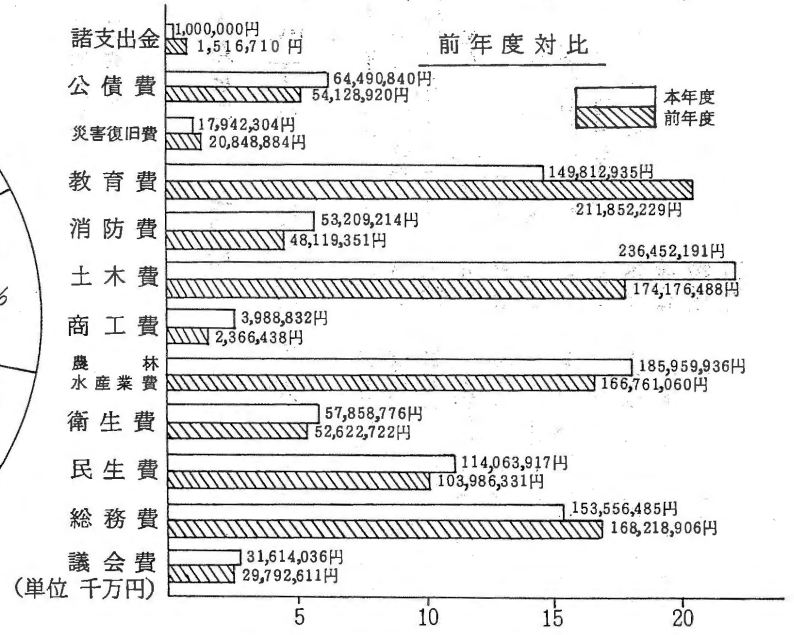
一般会計

歳入額 1,129,362,177円　歳出額 1,069,966,514円　歳入歳出差引残額 59,395,663円



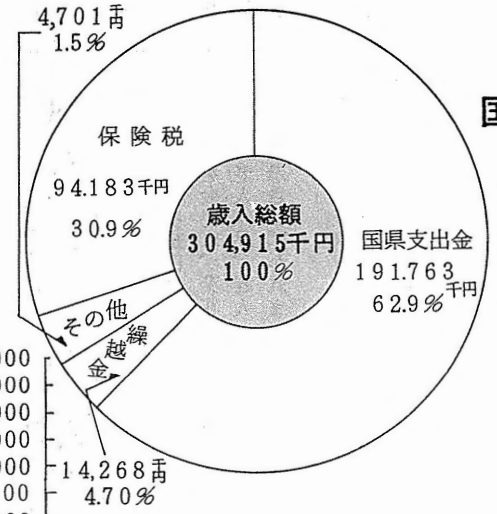


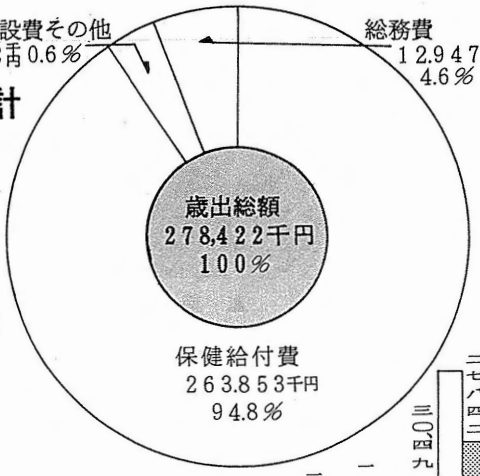




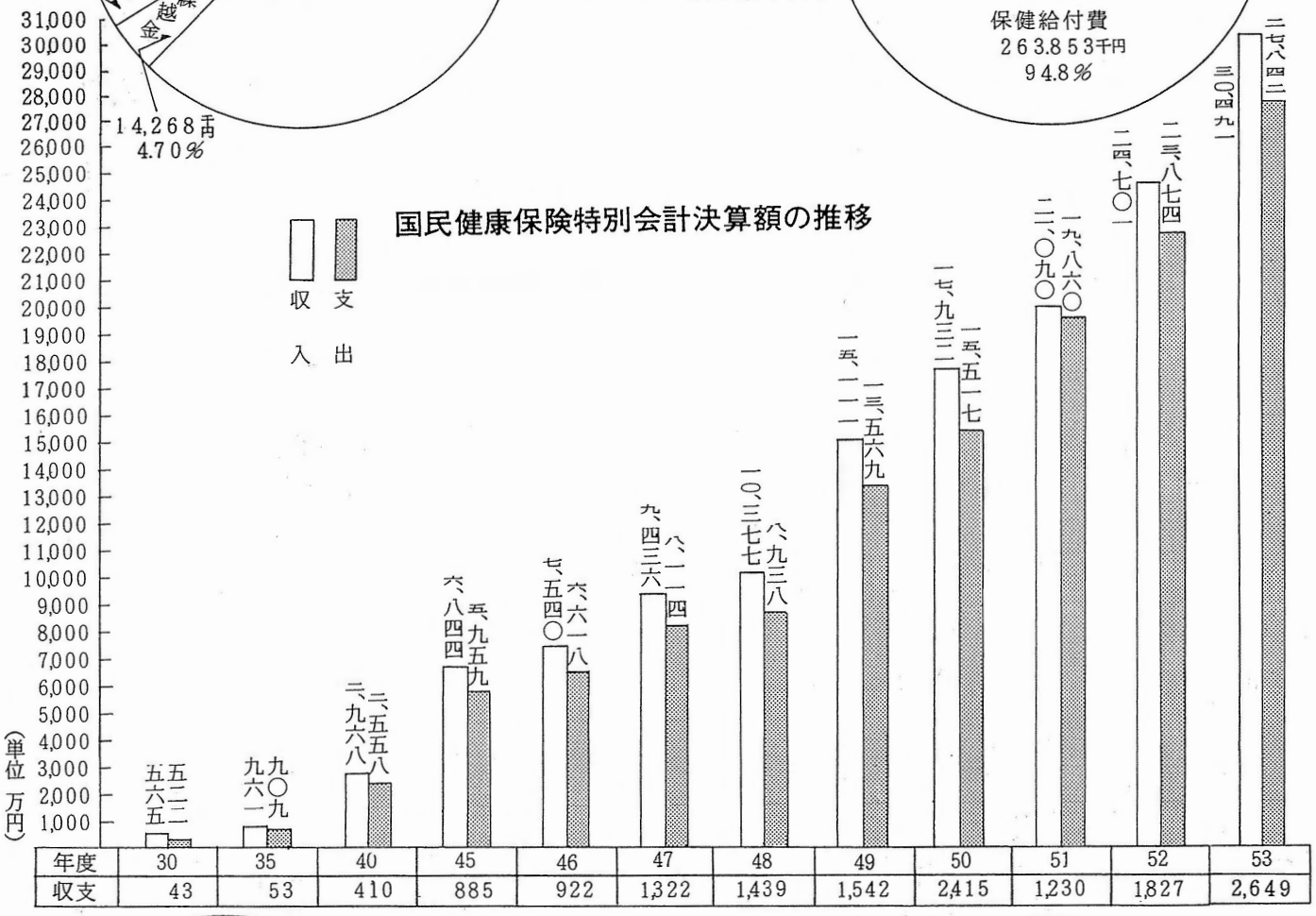
国保会計

歳入額　304,915,060円
歳出額　278,422,359円
歳入歳出差引残額　26,492,701円





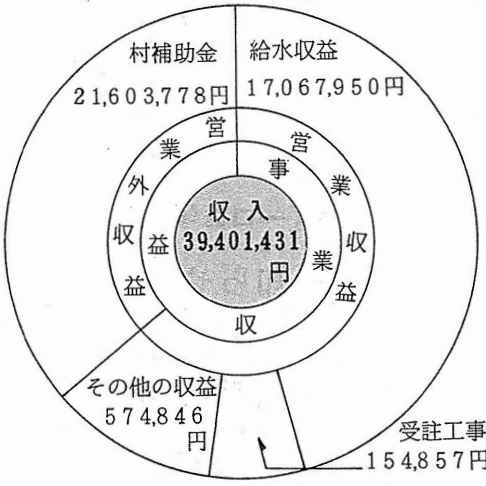
国民健康保険特別会計決算額の推移



年度	30	35	40	45	46	47	48	49	50	51	52	53
収支	43	53	410	885	922	1,322	1,439	1,542	2,415	1,230	1,827	2,649

広域簡易水道事業会計

歳入額　39,401,431円
歳出額　35,358,342円
歳入歳出差引残額　4,043,089円
(当年度純利益金)



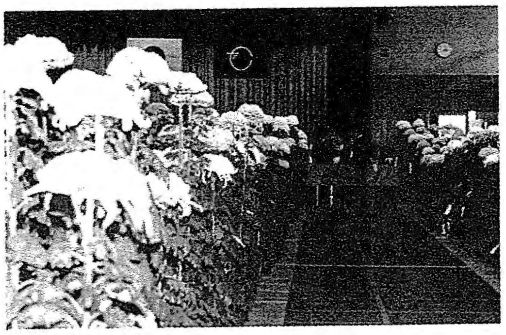
※広域簡易水道事業会計は今年度は4,043,089円の黒字決算となり、累積赤字は14,737,448円に減少となりました。

文化展大盛況

玉川村文化展は、文化の日を中心とした十一月二日から五日の四日間玉川村体育館を会場に、菊花盆栽、児童作品、老人作品、婦人作品展が一堂に展示され開かれました。

会場には、アイデアを駆使した多彩な老人作品や、丹精こめてつくられた見事な菊、秋にふさわしい山もの盆栽、村内小中学生の立派な図画習字、丹念に仕上げられた婦人作品など数多く展示され会場を訪れた参観人の目を楽しませてくれました。

なお、文化展の入賞者は次のとおりです。



▲ 菊　花　展

◆菊花展

議長賞
　円谷信男
教育長賞
　草野昭吉
公民館長賞
　草野豊
金賞
　草野豊、須釜シメ子、佐藤計味原清光、大和田重正、小林知子、円谷直成、坂本イツ、須藤利次、円谷信男

◆盆栽の部

○松柏の部
　金賞　佐藤計
○雑木の部
　金賞　有賀重夫
○実物の部
　金賞　大竹重郎
○草物（オモト、ラン）
　金賞　円谷直成

◆老人作品展

○郡山社会福祉事務所長賞
　曲山伝治
○日赤県支部長賞
　塩沢ツメ
○県老人クラブ連合会長賞
　石井広体
○石川地方社会福祉協議会長賞
　小林モト
○石川地方老クラブ連合会長賞
　宗形シン、榊枝義一
○村長賞
　磯目藤一、三瓶トクヨ
　矢部タツ、曲山秋雄
　佐藤ハルヨ、真弓シゲヨ
　真弓ハン、車田マツ
　車田ヨシノ、車田トク
　溝井ミツ、車田勇次
　小針ナカ、小針トシ
　小針千吉、草野きみ子
　石森ヨシ、草野ウメ子

▲ 見　事　な　盆　栽

◆児童生徒作品展

○習字の部
　石井和男、荻田辰哉
　三吉康仁、矢吹恵美子
　石井正子、矢吹豊美
　（以上玉一小）
　矢部君子、小針美由紀
　前田　勝、曲山知宏
　坂本のぶ子、白旗裕美
　（以上川辺小）
　真野目正幸、杉山恵子
　塩沢昌功、熊谷浩子
　大野　勇、小山田弘
　（以上須釜小）
　矢部和子、吉田トヨ子
　久保木敦子、佐藤克子
　須藤文子、小林尚子
　真弓久子　（以上泉中）
　阿部公平、大野玉恵
　関根清美、塩沢進代
　小針和江、宗形英子
　相楽智恵子　（以上須釜中）
○図画の部
　小林元彦、石井　登
　（以上玉一小）
　真弓典子　（以上川辺小）
　矢部弘子、矢部文江
　白旗裕美　（以上川辺小）
　塩沢信男、榊枝美由紀
　（以上須釜小）
　吉田トミ子、曲山勇夫
　西島里美　（以上泉中）
　佐藤計介、我妻直子
　有賀嘉彦　（以上須釜中）
　大竹はつ、草野たかお
　佐久間倉蔵、倉鎌守清
　小林ヨシ、上野鶴雄
　矢吹リヨ、中野チヨウ
　榊枝初江、有賀ミチ
　吉村トシ、草野アサ
　鈴木キヨノ、塩沢フサ
　草野藤吉、佐久間スイ
　野口房ノイ、矢吹覚治
　有賀シチ、矢吹玉次
　矢吹アサノ、榊枝定一

▲ 婦　人　作　品　展

【一口医学】

爪が知らせる病気

健康な爪は、薄紅色ですべすべとし、つけ根の部分が白色です。

ところが心臓病があって血液の循環が悪かったり、貧血だったり呼吸困難をおこしたときなどの爪は、唇と同じくチアノーゼをおこして紫色に見えます。これは爪そのものの変色ではなく、爪の下の毛細血管が透けて見えるわけですが、爪そのものの変化からも病気を判断することができます。

爪に縦の線が入るのは、年をとれば皮ふにしわがよるのと同じことで、生理的なものが多いのですが、深い縦の線ができたり、もろく割れたりするのは皮ふ病かリューマチが考えられます。

爪がスプーン状にそり返るのは貧血、逆に爪が指先をつつみこむような、つまりスプーンをふせたような形になるのは、大人なら肺の病気、子どもなら心臓病の疑いがあります。爪にへこみがたくさんできるのは皮ふ病の乾癬、円形脱毛症が原因の場合が多いようです。

12月15日～1月14日まで

年末年始の交通事故防止県民運動

今年も早いもので師走の月となりました。

年末年始にはなにかと気せわしく落ちつかないものです。

また、年末年始は飲酒する機会が多く、これに伴って悪質危険な無謀運転が増加するため、この時期をとらえ危険性と反社会性を広く県民に訴え、すべての県民が安全な運転と正しい歩行を実践することにより交通事故の防止をはかるため、「飛ばしたい飲みたい心にブレーキを」をスローガンに五十四年十二月十五日（土）から五十五年一月十四日まで年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動が展開されます。

◇――◇――◇

わが玉川村からは、いたましい交通事故を絶対出さないために次のことを皆んなで守り、交通事故のない年末年始をおくりましょう。

①交通七悪の徹底追放
②こどもと老人の交通事故防止
③自転車利用者の交通事故防止
④夜間の交通事故防止

踏切では安全に
通行するように心がけましょう

◎踏切では必ず一旦停止して安全を確認して通行しましょう。

◎まだ間がある！こんな油断は事故のもとです。列車はすぐには止まりません。

◎踏切警報機が警報を発し、しゃ断機が閉ぢようとし若しくは閉じている間は、絶対に踏切内に入らないでください。

◎踏切の先が混雑しているときは前方にアキができるまで踏切の手前で待ちましょう。

◎列車が通過してもすぐ踏切に進入しないで、となりの線路の列車を確かめてください。

◎踏切上での変速はエンストの原因となります。

◎せまい踏切での無理な通行は踏みはずしの原因となります。

◎踏切上でエンストしたり、踏みはずした場合は、あわてずにまず列車を止めよう。

◎踏切上の電線に接触しないよう注意しましょう。

◎幼児、老人の事故をなくしましょう。

◎樹木等の伐採にご協力下さい。

第十八回福島県交通安全県民大会
本田栄勝さんら受賞

第十八回福島県交通安全県民大会が、去る十月二十九日白河市民会館で関係者五百人余りが出席して開らかれました。

本村からも交通安全協会分会老人クラブ、交通安全母の会の代表が出席いたしました。

この大会は、数多い人々が交通事故により犠牲となっている現実を見つめ、依然として跡を絶たない交通事故を根絶するため、二百万県民の総意によって、交通安全を基本テーマにより、一人一人がそれぞれの立場で交通事故防止の実践活動につとめることを確認し交通事故のない明るい住みよい社会をつくるために開らかれて居るものです。

なお、大会の席上で交通安全に功労のあった方々に、それぞれ表彰の受与がありました。

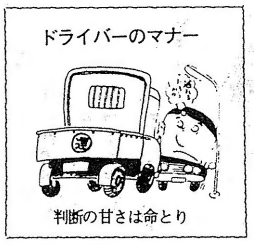
本村の受彰者を紹介いたします。

○交通安全活動協力者（県交対協会長表彰）
　境田孝意

○交通安全功労者（県交対協会長表彰）
　鈴木利夫

○優良運転者（県交対協会長表彰）
　本田栄勝　大野重雄

交通事故の相談は
自動車保険請求相談センターへ



交通事故でお困りの方の相談相手として、社団法人日本損害保険協会では「自動車保険請求相談センター」を設け専門の相談員が親身になって、交通事故による自賠（強制）任意を問わず、自動車保険の請求手続きや交通事故の解決方法等のご相談に応じています。

また、同相談センター委嘱の弁護士が毎週木曜日に複雑な法律上のご相談にお答えしています。

相談は一切無料ですから、ご遠慮なくご利用下さい。

▽開設場所
福島市大町七～二五
七十七ビル五階
自動車保険料率算定会
福島調査事務所内
福島自動車保険請求相談センター
電話　福島（〇二四五～二三～三四七一）
直通　福島（〇二四五～二一～一二九五）

▽相談時間
平日、九時三十分～一六時三十分
土曜日、九時三十分～十二時

▽弁護士相談日
毎週木曜日十三時～十六時
但し、木曜日が休日にあたる場合は金曜日

防犯灯寄贈

東北電力石川営業所（本多秀雄所長）よりこのほど防犯灯の寄贈がありました。

東北電力では地域の防犯に役立ててほしいと云うことから毎年春、秋二回、二灯づつ寄贈して居るもので、防犯協会、地区民から大変感謝されて居ります。

今回寄贈された防犯灯は、南須釜月夜作地内、岩法寺道刕地内に設置するよう計画して居ります。

紙上をおかりいたしまして厚く御礼申し上げます。

製造業のみなさん

工業統計調査にご協力を

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行われます。

十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力下さるようお願いいたします。

この調査によって、わが国の製造業の実態や製造活動の現状が明らかになるほか、調査のデータは製造業のみなさんが各種製品の生産、販売プランをお立てになる場合の参考になるのをはじめ、たとえば、都市開発や下水道計画の資料となるなど、わたしたち国民生活の向上に広く活用されます。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対にありませんので安心してありのままをお書き下さい。

【甲調査】
従業員三十人以上の事業所の調査（17項目）

【乙調査】
後業員二十九人以下の事業所の調査（13項目）

【丙調査】
製造業の本店、本社を調査するもので①二つ以上の製造工場を経営する企業の本店、本社②製造工場と別の場所にある企業の本店、本社を対象に行われます。（12項目）

なお、主な調査項目は、事業所名、従業者数、原材料および燃料使用額、製造品出荷額、有形固定資産投資総額などです。

第29回福島県統計大会
東京精工に通商産業大臣表彰

第二十九回福島県統計大会は十一月十四日郡山市の市民会館で開かれました。

大会には県内の各市町村の統計調査員、関係者千五百人、県から松平知事が出席、各種統計の功労者に表彰のほか、各種統計に対する意見発表などがあって盛会のうちに終了いたしました。

本村関係の受賞者を御紹介いたします。

▽通商産業大臣表彰（工業統計）
東京精工株式会社

▽福島県統計協会長表彰
相楽伝吉（統計功労者）

▽通商産業大臣官房調査統計部長表彰（工業統計）
阿部由紀夫（東京精工）

▽内閣総理大臣表彰（住宅統計）
矢部常政（調査指導員）

国税だより

◎お酒や品物にかかる税金

酒やその他の品物にかかる間接税は、私たちの日常生活に深いかかわりを持つ身近な税金です。

この間接税は、品物の価格の中に税金が含まれていますが、最終的には品物を買った消費者が負担することになります。

＜酒　税＞

清酒、ビール、ウイスキーなど酒類にかかる税金で、酒類が製造場から出荷されるときにその数量に税率をかけて計算します。また価格の高い高級酒は、課税の公平を図るため、出荷価格に税率をかけて計算します。

＜物品税＞

宝石や貴金属、ゴルフ用品、自動車、ルームクーラーなどの装飾品や娯楽用品などの品物で、一定金額以上の物にかかる税金です。

取引の実態などにより、宝石などのように小売の段階で納める方法とゴルフ用品や自動車、電気製品のように製造場から出荷されるときに納める方法とがあります。

◎貯蓄と税金

私たちは、住宅の購入や病気などの思いがけない出費に備え、預金や公社債を買って貯蓄します。

これらの預金や公社債の利子は利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続をとることによって税金がかからない制度があります。そこで、非課税となる貯蓄の種類と金額について説明すると

①少額貯蓄の利子　預貯金や、公社債、貸付信託などの利子や収益の分配金は、一人元本三百万円まで。

②少額公債の利子　国債や公募地方債の利子は、①と別わくで一人額面三百万円まで。

③勤労者財産形成貯蓄の利子　サラリーマンが給与から天引されて貯蓄するいわゆる「財形貯蓄」の利子は①、②と別わくで一人元本五百万円まで。

このほか、郵便貯金の利子には原則として税金はかかりません。

また、住宅を購入するための貯蓄で一定の要件に当てはまるときは、最高三万円を所得税から差引く「住宅貯蓄控除」の制度があります。

『年賀はがき』特別取扱はじまる

①12月20日までに
年賀状の引受けは12月15日から開始します。元旦に届くには遅くとも12月20日（木）までにお出し下さい。

②方面別に区分して
「村内あて」「県内あて」「東京都あて」「その他あて」に分けて紙札をつけ輪ゴム等で束ねてお出し下さい。

③赤で「年賀」の表示を
私製はがきとか、お年玉つき以外の年賀状は、普通の郵便物とまちがえないよう、表面に赤で「年賀」と表示して下さい。

④郵便番号とあて名は、はっきりと書いて下さい
特にアパート名、棟番号、室番号や「○○様方」又は「○○ビル」など肩書まで詳しく書きましょう。

川辺郵便局

12月16日（日）は家族そろって年賀状を書きましょう

繭・葉たばこ品評会

県知事賞　塩田重美さん（葉たばこの部）　大越一二さん（繭の部）

昭和五十四年度の繭・葉たばこ品評会が村主催で行なわれました

この品評会は、本村の繭・葉たばこの品質向上をはかり、養蚕葉たばこの振興と農家所得の増大を期するため開催したものです。

品評会には繭二百十三点、葉たばこ九十六点が出品され次の方々が入賞いたしました。

▽葉たばこの部

一等賞　鈴木　茂夫（北須釜）
　　真野目清人（山新田）
　　塩田　重美（四辻新田）
　　塩田　徳康（〃）
　　塩田　清（〃）

二等賞　小山田義美（南須釜）
　　塩沢　久義（〃）
　　矢吹　春雄（北須釜）
　　草野　昭夫（北須釜）

三等賞　塩沢　伝（南須釜）
　　遠野　誠（〃）
　　大野　好利（〃）
　　榊枝　一美（北須釜）
　　矢吹　捨治（〃）
　　高原　豊勝（〃）
　　渡辺　光秋（四辻新田）
　　坂本　一弥（小高）
　　真弓　敬吉（蒜生）
　　矢吹　晋作（〃）
　　大竹　要介（川辺）
　　矢部　欣一（〃）
　　大竹　和栄（岩法寺）
　　宗形　菊男（南須釜）
　　吉村　正男（〃）
　　矢吹　吉造（〃）
　　榊枝　徳一（〃）
　　塩沢　義徳（〃）
　　鈴木　要二（〃）
　　矢吹　正七（〃）
　　我妻　勝雄（山小屋）

▽繭の部

一等賞　大越　一二（南須釜）
　　塩沢　金一（北須釜）
　　草野丑次郎（南須釜）
　　大野　正徳（〃）
　　矢吹　嘉雄（吉）
　　車田　利雄（小高）
　　須藤　永一（川辺）
　　西舘　英範（北須釜）

二等賞　小針　吉彦（〃）
　　榊枝　安孝（〃）
　　草野　継男（〃）
　　大越　常義（南須釜）
　　大越　専（〃）
　　吉村　安一（〃）
　　増子　音重（〃）
　　草野　林次（北須釜）
　　宗形　将英（南須釜）
　　増子　重直（〃）
　　馬上　林雄（南須釜）
　　馬上　末三（〃）
　　渡辺　政一（北須釜）
　　榊枝　栄（〃）
　　矢吹　重一（〃）
　　草野　光重（〃）
　　野口　庄一（〃）
　　矢吹　忠男（〃）
　　我妻　武夫（山小屋）
　　石森　始（〃）

三等賞　熊谷　直勝（南須釜）
　　小林　尚（竜崎）
　　吉田　金治（中）
　　小林　吉明（竜崎）
　　岡部　正光（〃）
　　鈴木　吉之（〃）
　　小林　友之（〃）
　　高林浅太郎（中）
　　坂本　健一（小高）
　　鈴木　広一（北須釜）
　　鈴木　ユク（〃）
　　塩沢　隆好（〃）
　　小針　佐一（〃）
　　大越　常正（南須釜）
　　大越　吉男（〃）
　　塩沢　重直（〃）
　　飯島　武重（〃）
　　大野　佐重（〃）
　　大野　伝吉（〃）
　　矢吹　玉次（山小屋）
　　石森　始（〃）
　　塩田　実（四辻新田）
　　榊枝　藤吉（北須釜）
　　矢吹　義三（〃）
　　矢吹　忠次（〃）
　　宗形　祐安（南須釜）
　　塩沢　義房（〃）
　　有賀　金次（吉）
　　塩沢　利正（南須釜）
　　阿部　万治（〃）
　　大和田一夫（吉）
　　佐藤　広竹（〃）
　　小林　ヨシ（竜崎）
　　橋本ミツヨ（〃）
　　小林清右エ門（〃）
　　石井　清衛（〃）
　　石井　清美（〃）
　　鈴木　ヤス（〃）
　　佐藤　一男（蒜生）
　　高原　竹義（小高）
　　高原　藤助（〃）
　　吉田　金作（岩法寺）
　　石森ケサヨ（〃）
　　野崎キクエ（川辺）
　　吉田　直人（〃）
　　高林マツヨ（中）
　　永林　久徳（〃）

▲県知事賞の繭

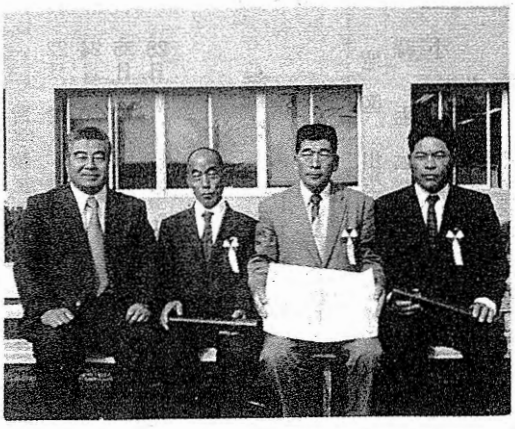
▽県知事表彰
○葉たばこの部
　塩田　重美（四辻新田）
○繭の部
　大越　一二（南須釜）

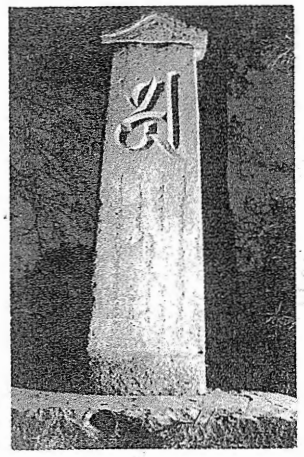
農林水産大臣から感謝状
矢吹正七さんらに授与

去る十月二十三日、福島市民会館において、農林統計情報協力者に対し、本年度の農林水産大臣感謝状の伝達式が行われました。

わが村では、矢吹正七さん、大越吉男さん、大越常義さんらに感謝状が贈られました。

この感謝状は、農畜産物生産費調査（米）農家として、十年以上も継続してこの調査に協力した功績に対し敬意と、謝意を表するため今回贈られたものです。


▶感謝状を手によろこびの三人



「岩法寺開山碑」村文化財に指定

玉川村教育委員会では、岩法寺字蕨岡にある「岩法寺開山碑」を十月一日付で玉川村指定有形文化財に指定しました。

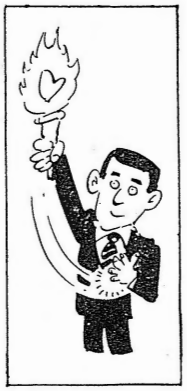
この開山碑は総高二・三五㍍で、文保二年（西暦一、三一八）に巌峯寺（今は岩峯寺）中興開山の僧、空谷禅師の三年忌に観念によって建てられた供養碑で、造立年号が明僚で、大きさ、つくりとも地方に類例のない見事な供養碑です。

なお巌峯寺は、当時この地方を支配していた大槻盛福が、父の石川城主大和守光盛の助力を得て中興開基した寺院であるといわれ、鎌倉の北條家と石川家は血縁関係にあったので、鎌倉より空谷禅師が招かれたものと思われる。

元来天台宗であった岩峯寺はこれ以来臨済宗建長寺派となり現在に至っている。

あなたの灯を高くかかげて!!

歳末たすけあい運動始まる



恒例の「歳末たすけあい運動」が、今年も十二月一日から一か月間にわたって全国的に行われます。

これは「みんながそろって明るいお正月を」スローガンに、赤い羽根の共同募金運動（十～十二月）の一環として繰り広げられるものです。

「この千円は僕が貯金しようと思ったお金です。僕のお父さんは死んでいないけど、しあわせ過ぎるくらいに暮らしていますので、親のない気の毒なお友だちに本でも買ってあげてください」と千円を送って来た名古屋の小学四年生など、昨年は目標額を大幅に上回る五十四億円のお金が寄せられました。

これらのお金は生活困窮世帯（二十一、八億円）や寝たきり老人（十億円）肢体不自由児（七、二億円）などに配分され、〃善意の灯〃は全国で明るい光をともしています。

今年の目標額は四十八億五千万円。この歳末たすけあい運動は民生委員、児童委員をはじめ、婦人・青少年を中心に推進される地域単位のたすけあいと、NHKが放送を通じて呼びかけを行うものと、二通りの方法で全国的に展開されます。

――あなたの灯を少し高くかかげてください。恵まれぬ人たちのために――

一定面積以上の土地取引には届出を

一定面積以上の土地の売買などの契約をするときは、国土利用計画法によって売る人も買う人も必ず知事に届出をすることになっております。

届出が必要なのは次の場合です

都市計画区域のうち市街化区域では二千平方米以上

その他の都市計画区域では五千平方米以上

都市計画区域以外の区域では一万平方米以上

届出をしないで契約を締結しますと、罰せられることがありますので、十分注意して下さい。

幼稚園児募集のお知らせ

昭和五五年度の玉川村立幼稚園園児を次により募集いたします。

一、入園資格

㈠ いずみ幼稚園、玉川村内に居住し、昭和四九年四月二日から昭和五〇年四月一日までに生れた幼児。（五才児）

㈡ すがま幼稚園、玉川村内に居住し、昭和四九年四月二日から昭和五一年四月一日までに生れた幼児。（四才児と五才児）

二、募集定員

㈠ いずみ幼稚園　一二〇名

㈡ すがま幼稚園　八〇名

三、募集期間

昭和五四年十二月十七日から十二月二十一日まで。

四、入園願書提出先

㈠ いずみ幼稚園を希望される幼児の保護者は、直接いずみ幼稚園へ提出してください。

㈡ すがま幼稚園を希望される幼児の保護者は、須釜支所へ提出してください。

（いずみ幼稚園と須釜支所に入園願書用紙を備えておきますから印鑑を持参し記入捺印のうえ提出してください。）

五、その他

不明の点は玉川村教育委員会におたずねください。

詳しくは、玉川村役場企画課にお問合わせください。

寄附

一金五千円也

玉川村商工会青年部殿

去る十月十四日、須釜小学校校庭で開らかれた村民体育祭当日即売店を行なった際の売上利益金の一部を社会福祉協議会の活動資金として御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

（社協）

12月 公民館関係行事予定

1～2日　勤労青年文化展
1～2日　泉婦人会研修
3日　20歳の教室(5)
5日　社教定例研修
6日　ダンス教室
7日　習字教室
10日　20歳の教室(6)
芸術祭実行委員会
社会教育関係調査
11日　日本画教室
ダンス教室
16日　柔剣道大会
17日　20歳の教室(7)
20日　ダンス教室
21日　社教定例研修
習字教室
22日　婦人学級
24日　20歳の教室(8)
25日　日本画教室
28日　月末統計

広報原稿作成

おめでた

（十月分の出生届書から）

地区	出生児氏名	保護者名
蒜生	佐藤弘樹	文雄
小高	宗形智伸二	
〃	関根いづみ	孝正
中	小針美妃子	康徳
〃	藤木真智子	正雄
岩法寺	倉鎌孝美	孝幸
竜崎	石井清剛	清徳
〃	鈴木裕子	世志男
南須釜	草野美恵子	正博
〃	大越里佳	利男
北須釜	榊枝妙子	一夫
山小屋	石森一敏	直一
〃	石森努昭	治
〃	我妻広弥利	夫
四辻新田	関根浩子	弘志

おくやみ

（十月分の死亡届書から）

地区	死亡者氏名	年令	世帯主名
蒜生	由山キク子	52	嘉昭
小高	車田喜作	80	英治
中	鈴木利夫	49	今朝美
〃	鈴木アキ子	47	今朝美
山小屋	石森正伊	66	正人
山新田	真野目浅人	29	正昭